

会 議 の 概 要

1 会 議 名	令和5年度第3回宝塚市社会教育委員の会議
2 開 催 日 時	令和5年11月15日（水）9時30分～11時00分
3 開 催 場 所	宝塚市役所第2庁舎 会議室B
4 出 席 委 員 [■出席 □欠席]	■木下委員 □田中委員 ■林委員 □石井委員 ■大西委員 □温井委員 ■皐月委員 ■西本委員 ■種村委員 ■寺澤委員 □湯浅委員
5 傍 聴 者 数	0 人
6 公 開 の 可 否	■ 可 □ 不可 □一部不可
7 議題及び結果の概要	◆議題 （1）宝塚市立宝塚自然の家指定管理者制度導入後の検証 ◆報告 （1）令和5年度阪神北地区社会教育委員協議会 第1回研修会等について

令和5年度第3回宝塚市社会教育委員の会議 議事要旨

1 議題

(1) 宝塚市立宝塚自然の家指定管理者制度導入後の検証

(事務局)

本会議の第1回及び第2回でいただいたご意見についてまとめたものを資料1としている。宿泊施設としての利用については、指定管理者の自主事業として7月と10月にキャンプを実施している。7月は2組、10月は7組の参加があった。参加者からの感想としては、水場が近くになくトイレも歩いて5分ほどかかる。翌日の朝10時には出るルールとなっていたが、片付け等に時間がかかり難しかった。車の乗り入れがその日のみ許可されていたが、乗り入れがないと駐車場からは遠いため難しい。イベントも開催され、参加した子ども同士が仲良くなり良かったなどがあった。

企業との連携や寄附についての意見があったが、アスレチックの整備に費用がかかるため、アスレチックに募金箱などを設置し、利用者からの寄付を募って整備に充てることはどうかを指定管理者と検討していく。

尼崎市立青少年いこいの家及び三田市野外活動センターの視察報告を資料2としている。感想としてはどちらも清潔感があり、トイレも屋外にあるが綺麗に保たれている。また、本市とは違い、コンパクトな施設となっており、車の乗り入れがなくても駐車場から徒歩で荷物等を運ぶことが可能である。指定管理者も痛感しているところがあり、改善できることはしていきたいと考えている。三田市の施設は近くに川があり、魚の掴み取り体験ができる。こういったキーコンテンツも賑わいには大切だと考える。

(委員)

キャンプ場としての使い方が良いと考える。ただし、安価な利用料金だからといって、設備等の清潔感がないのは良くない。何に費用を使うのかしっかり判断した上で整備は必要だと思う。また、次期指定管理者の選定に向けて、公募で行う場合には、様々な考えの企業が手を上げるかもしれないが、改めて市としてのこの施設の方向性をしっかりと持った上で、選定を行っていただきたい。

(副議長)

「不便を体験できる」をコンセプトにすれば、まわりとは違った体験ができるのではと考える。また、少人数の宿泊であれば可能ではないかと感じる。自然体験は子どもたちにとって心が豊かになると認識しているが、若い保護者もあまり体験したことがないので、子どもに聞かれても分からないこともある。そのため、自然について解説があれば、そこで過ごす時間が豊かになり、家に帰ってからふとしたことで、前に教えてもらったことだと認識し、興味も深まっていくと思う。自然に興味を持つきっかけの一

歩となるような施設になればと考える。

(委員)

老朽化した施設が残っていることが気になった。これからビジターが増えると同じように気になると思う。入り口にある本館は施設の顔となるため、そこだけでも建て替えることはできないか。時間はあまりないが、次期指定管理期間開始までに不要なものは解体できれば良いのではと考える。

(委員)

校外学習や家族で芋掘りなどをしたという声を聞くことが増え、学童でも今度行くという話も聞き、認知されてきているということを感じている。自然体験ができる場所が減ってきているため自然と触れ合える場所が市内であるというのはありがたい。天体観測ができるので、夏の流星群を観察できればと思う。

(委員)

利用者の減少とともに公共交通機関も減っているが、これから利用者が増え、市民などからの声があがれば、状況が変わることもあると思う。

(委員)

多目的広場まで水道管を伸ばすことは可能か。蛇口またはトイレ、シャワーなどを設置できればと考える。

(事務局)

水道管自体は多目的広場手前までであるため、蛇口をつけることは難しいことではない。トイレは排水や下水の整備にある程度の費用が必要となる。また囲いとなる建物の建設も必要となる。シャワーは簡易シャワーであればできるかもしれない。

事務局としては、多目的広場までは駐車場からの距離もあり、水道管等の整備も必要となることから、手前にあるアカシア広場やプールの跡地を整備して活用できないかを案として考えている。

(議長)

プールの跡地を解体すると費用がかかる。他の自治体ではプールの跡地でアナゴやニジマスなどの養殖をしている事例がある。

(事務局)

アイディアとしてとても面白いと思う。一方で老朽化が進んでいるため、施設管理し

ている部署からは解体するべきとの考えもあり、次期選定に向けてバランスを取る必要があると認識している。

(議長)

水を使わない仕様で堆肥化できるトイレが山小屋などにあるが、下水道を整備するより安価なのであればどうか。環境学習にもなると思う。

(委員)

緊急時用に近い場所にあれば良いのではないか。また、キャンプの場所も少人数の場合は、アカシア広場で行い、大人数の場合は多目的広場など使い分けをしても良いのでは。

(議長)

駐車場でオートキャンプをしたいという声があるかもしれないため、その水道の整備も必要だと考える。

(委員)

何が必要で残すものを考える必要がある。

(議長)

防犯カメラの設置も安全面から必要だと考える。

(事務局)

指定管理者が入り口に1台設置を検討している。

(副議長)

便利なものが増えすぎていて、不便を経験することも大切だと思う。近くの簡易なトイレもあれば遠くに整備されたトイレもあるような少し足りない施設も良いと思う。

委員の意見にもあったように、人数によってキャンプ場所を変えるのは良いと思う。利用者の人数が増加してくれば、多目的広場の整備を検討するなど2段階で検討すればうまくいくのでは。

また、駐車場から遠いということについて、荷物を運ぶのもキャンプだと思うし、リアカーを用意し自由に使えたり、運んでほしい人は有料で施設の人に運んでもらえるなどの運用も良いのでは。三田市にある施設が会員制でそういった運用をしている。ただし、民間が管理運営をしているため、公共施設より費用は高い。施設には、簡易シャワーがあり、薪も売られている。

(委員)

宝塚自然の家は市の施設として進めていくのか。

(事務局)

市の施設として運営していく。次世代に残したいと思えるようなアイデアをいただきたいと考えている。

(議長)

JA と関係があるのであれば、物産などがあれば人が集まり、施設を知ってもらうきっかけになるのでは。見てもらうことが重要だと考える。

(委員)

公の施設は安価で利用できることが良いところだと思う。こういった自然を満喫できる施設があるということを知り、管理者も利用者もこの施設を残していくためにはどうした良いか知恵を出し合いながら進めることが大切だと思う。

(委員)

丹波少年自然の家が閉所となり 5 年生の自然学校での宿泊施設を確保することが難しくなっている。施設が少ない中でどの学校も同じ時期に希望するため、抽選となった場合に、スケジュールが組みにくくなるため、身近な宝塚自然の家で宿泊できればと思う。前回施設を見学し、3 年生の環境学習（日帰り）に適していると感じたため、学校教育課と連携して利用できれば有効活用できるのでは。

(議長)

多くのご意見をいただき感謝する。事務局より今後のスケジュールについて説明をお願いします。

(事務局)

次回開催は 2 月中旬を予定。意見書（案）を提示いただき、3 月下旬に臨時会を開催できればと考えている。

2 報告事項

阪神北地区社会教育委員協議会第 1 回研修会について

- (1) 日時 令和 5 年 1 0 月 1 8 日（水） 1 5 時～
- (2) 場所 市立伊丹ミュージアム

(3) 内容

施設見学

講師 市立伊丹ミュージアム館長 奥山 清市 氏

第65回全国社会教育研究大会宮崎大会

(1) 日時 令和5年11月9日(木)、10日(金)

(2) 場所 宮崎市民文化ホール他

(3) 内容

【特別対談】

時代をつなぐ「こころ」の普遍性

～神話と牧水のふるさと宮崎から生涯学習の在り方を再考する～

上野 誠 氏 (日本文学者、國學院大学教授)

伊藤 一彦 氏 (歌人、宮崎県立図書館名誉館長)

(議長)

それでは、以上をもちまして、本日の議事を終わらせていただきます。